

Linuxで構築した ミッションクリティカル半導体生産ライン制御システム

Linux Based Mission Critical Control System for Semiconductor Products Line

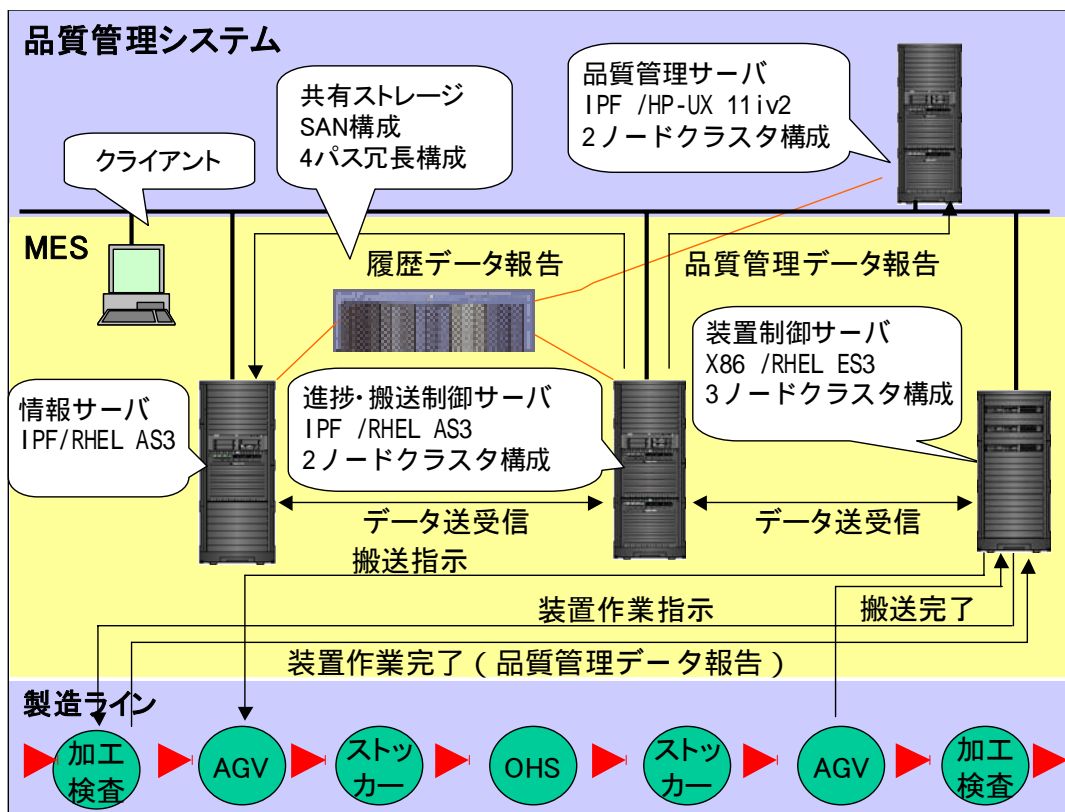
近年、情報システムの分野においても低価格化及びコスト低減が求められており、ミッションクリティカル+365日稼働のシステムにもLinux^(注1)の採用が急速に広まっている。

某社向け大規模半導体工場生産管理システムのリプレースにあたり、

- ①メインサーバ:IPF (Itanium^(注2) Processor Family) 機
- ②オペレーティングシステム:Linux (Redhat^(注3) Enterprise3.0)
- ③クラスタ構成:ClusterPro^(注4)
- ④ストレージ冗長化:SANRISE^(注5)+HDLM(HiCommand Dynamic Link Manager)
- ⑤アプリケーション:Linux 及び64ビット対応

のプラットフォームでシステムを構築した(2006年1月稼働予定)。

このような組合せによる構成としては画期的なものであり、安価で可用性のあるシステムの先駆けになると思われる。



MES: Manufacturing Execution System, AGV: Automated Guided Vehicle,
OHS: Overhead Shuttle, SAN: Storage Area Network, RHEL: Red Hat Enterprise Linux
IPF: Itanium Processor Family, HDLM: HiCommand Dynamic Link Manager

大規模半導体生産管理システム概要

< 取り扱い: 三菱電機インフォメーションシステムズ(株) TEL:03-5445-7490 >

(注1) Linux は、Linus Torvalds 氏の登録商標である。
(注2) Itanium は、Intel Corporation の登録商標である。
(注3) Redhat は、Red Hat, Inc. の登録商標である。
(注4) ClusterPro は、日本電気(株)の登録商標である。
(注5) SANRISE は、(株)日立製作所の登録商標である。